

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語指導者養成】

受託団体名 輪島市

1 事業の趣旨・目的

昨年度、輪島市ではじめての日本語講師養成講座を開催し、その後、修了生により日本語教室の運営が行われている。しかし、講師のほとんどは教授経験がなく、より高度な知識・技術が必要との希望がある。昨年度講座を受講した方々の日本語教授能力の向上をはかるとともに、新規講師の養成も行い、安定した日本語教室の運営につなげる。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
6月23日	輪島市役所 会議室	今井武 伊藤三津子 木下伸一 大西香織 岡山貴幸 園又泉	・講師養成講座の重点 事項について	・開催日、時間、回数、 開催場所の決定 ・カリキュラム案につい て協議 ※日本語教室出前講座 運営委員会と併催
9月15日	輪島市役所 会議室	今井武 伊藤三津子 木下伸一 七浦禎蓮 大西香織 園又泉	・10回の講師養成講座 を終えて ・講師養成講座特別講 座について	・10回の講座を終えて、 今後の教室運営につい て協議 ・特別講座の開催時期、 講師について協議 ※日本語教室出前講座 運営委員会と併催
12月8日	輪島市役所 会議室	今井武 伊藤三津子 木下伸一 大西香織 園又泉	・講師養成講座特別講 座の重点事項について	・日時、開催場所、講 師、テーマの決定 ※日本語教室出前講座 運営委員会と併催

【写真】



6月23日開催 運営委員会



9月15日開催 運営委員会

3 養成講座の内容について

- (1) 講座名 外国人に日本語を教えたい人のためのスキルアップ講座 in 輪島
- (2) 開催場所 輪島市ふれあい健康センター、輪島市文化会館
- (3) 学習目標 既に日本語を教えている方の日本語教授能力の向上をはかるとともに、はじめて養成講座を受講する方には、日本語を教えるために必要なスキルを身につけていただく。
- (4) 使用した教材・リソース
 - ・講師作成のレジュメ
 - ・AJALT リソース型日本語、みんなの日本語教材サイト、にほんごこれだけ！など
- (5) 受講者の募集方法
 - ・輪島日本語教室サポーター、国際交流サロンを通して周知
 - ・新聞折込広告に募集記事を掲載
 - ・輪島市ケーブルテレビでの募集情報の放映
 - ・市内公民館、近隣市町等への募集チラシの設置
 - ・「市のホームページ」に受講生募集案内を掲載
- (6) 受講者の総数 20人
(出身・国籍別内訳 台湾1人、日本19人)
- (7) 開催時間数(回数) 33時間 (11回)
- (8) 参加対象者の要件
外国人に対する日本語教育に興味を持つ方(外国語能力・教授経験は問わない)

(9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
7月5日 18:30～21:30	・日本語を学ぶ外国人の背景 ・地域の日本語教室とは？ ・輪島日本語教室の経緯、状況、課題	(財)石川県国際交流協会 専任日本語講師 今井武	16名
7月8日 18:30～21:30	・学習者を知る ・地域日本語教室の素材としての「活動」	(財)石川県国際交流協会 専任日本語講師 今井武	14名
7月15日 18:30～21:30	・教材として「AJALTリソース型日本語」を使うヒント ・漢字の練習方法	(財)石川県国際交流協会 専任日本語講師 今井武	10名
7月19日 18:30～21:30	・日本語授業を構成する「活動」の種類とその組み合わせ	(財)石川県国際交流協会 専任日本語講師 今井武	11名
7月22日 18:30～21:30	・「活動」を組み合わせた日本語授業～実施編1～	(財)石川県国際交流協会 専任日本語講師 今井武	17名
7月29日 18:30～21:30	・「活動」を組み合わせた日本語授業～実施編2～	(財)石川県国際交流協会 専任日本語講師 今井武 七尾を世界へひらく市民の会 事務局長 大星三千代	13名
8月2日 18:30～21:30	・他の地域日本語教室での交流型授業 ・場面を設定し授業を考える	七尾を世界へひらく市民の会 事務局長 大星三千代	14名
8月9日 18:30～21:30	・日本語を外国人に教えるヒント ・考えてきた授業案の発表、ブラッシュ	七尾を世界へひらく市民の会 事務局長 大星三千代	10名

	アップの為の検討 ・他の地域日本語教室の歩み、活動		
8月18日 18:30～21:30	・活動を組み合わせて授業を計画するためのポイント ・連続した授業を考える	(財)石川県国際交流協会 専任日本語講師 今井武	12名
8月30日 18:30～21:30	・メインになる活動を考える ・考えてきた連続した授業案の発表、ブラッシュアップの為の検討	(財)石川県国際交流協会 専任日本語講師 今井武	12名
2月4日 13:00～16:00	・他の地域日本語教室の活動の状況 ・「にほんごこれだけ!」について	金沢大学留学生センター 准教授 松田真希子 (財)石川県国際交流協会 専任日本語講師 今井武	13名

(10) 講座の評価

①受講生に対するアンケート

昨年の基礎講座からの受講者8名、新規受講者6名から回答を得た。

昨年の基礎講座を受講し、日本語教室での教授経験がある方からは、「教える場面を考えて受講することができ、わかりやすかった」、「実践的な内容だったので、大変良かった」等の意見があり、今後の授業にあたっての前向きな意見が多くみられた。

はじめて講師養成講座を受講した方からも、「よかった」という意見が多かったが、受講した内容を実践し、「教える」点に難しさや不安を感じているようである。

②実施主体からの研修内容結果評価

・教材の使い方や、授業の準備、進め方など講座を踏まえ、積極的な姿勢で授業に臨んでいる。他の地域日本語教室の事例や経験をお聞きしたことも、意識の高まりに効果があったと思われる。

・新規受講生の内6名が講座を修了し、そのほとんどが現在も日本語講師として活躍されており、新規講師の養成を行うこともできたと考える。

③実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

- ・今後も日本語教室に対する支援を行うほか、地域の日本人への日本語教室の存在の周知をはかり、支援者の輪を広げていきたい。

- ・今後もスキルアップのための要望があれば、何らかの形で対応したい。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

- ・講座のカリキュラムに、現在開催されている日本語教室での on the job training を取り入れたことにより、本講座がはじめての受講者の方でも、講座終了後にスムーズに講師へシフトできた。

- ・10回の講座修了後の9月から12月まで、市内2地区で開催した出前日本語教室に参加していただくことにより、実践の場を多く持つことができ、よりスキルアップが図られた。

② 研修後の人材活用

- ・講座で学習したことを活かし、日本語教室の講師としてより一層の活躍が期待される。

(12) 今後の課題

- ・新規講師の養成を行うことができたが、市中心部から離れた地域では少なく、他の地区に住む外国人への支援方法を検討する必要がある。